

第24期 幕別町農業委員

7月20日、新たに選出された24人の農業委員皆さんに町長から辞令が交付されました。任期は令和5年7月19日までの3年間となっています。

なお、辞令交付後に開催された第1回総会において、会長に谷内雅貴委員（明倫・6期目）、会長職務代理者に鯖戸英明委員（新和・6期目）が選出されました。

就任のごあいさつ



会長 谷内 雅貴

平素より本町農業委員会活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度の農業委員会総会におきまして、引き続き会長という重責を仰せつかり、身が引き締まる思いであります。

さて、本町における農業の現状は、農家戸数の減少、後継者・労働力不足など諸課題を抱えており、さらにTPPをはじめとした大型貿易協定の発効や新型コロナウイルス感染症の拡大が、今後農業にどのような影響を与えていくのか、先行きは非常に不透明な状況にあります。

このような中、私たち農業委員会は、本町の農業を守り、持続的な発展に寄与できるよう、自らの役割・任務の重要性を認識し、農地法のさらなる定着と適正な農地行政の執行はもとより、「農地等の利用の最適化の推進」について、積極的に取り組んでまいります。

今後とも最善の努力を尽くしてまいりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。



会長職務代理者 鯖戸 英明

この度、農業委員会総会におきまして、会長職務代理者に選任されました。前期同様、会長を補佐する立場として、また、委員皆様の取りまとめ役として、これからの3年間、その責務を全うできるように力を注いでまいります。

さて、平成二十七年の改正農業委員会法では、担い手への農地利用の集積・集約化をはじめとした「農地等の利用の最適化の推進」が最も重要な必須事務として位置付けられ、本町農業委員会におきましても、平成二十九年に推進に関する指針を策定し、具体的な目標等を定め、積極的に取り組んでまいりました。

また、現在の農業委員選出方法も農業者に広く浸透されており、改正後の農業委員会制度は醸成されているものと実感しております。

今後は、先輩委員が築いてきた実績を引き継ぎ、委員皆様とともに農地行政を担う組織の一員として、本町の農業振興に寄与してまいりますので、より一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

ご勇退された委員の皆様ありがとうございました

この度の改選に伴い、任期満了により9人の委員がご勇退されました。本町の農地行政、農業振興に多大なるご尽力を賜りましたことに、深く感謝とお礼を申し上げます。

香西 浩志 様 (駒 畠 ・ 弘 和) 3期
齊藤 一男 様 (忠類新生・中当・古里) 4期
深松 俊英 様 (中 里) 2期
石川 雅洋 様 (JA 帯広大正管轄区域) 4期
齊藤 正孝 様 (大豊、南勢、軍岡) 3期

菅野 能稔 様 (JA 忠類管轄区域) 2期
前川 厚司 様 (JA 幕別町管轄区域) 3期
蛭原 一治 様 (忠類幌内・明和・元忠類) 6期
飛田 榮 様 (中 立 委 員) 1期